



2014～15 年度
国際ロータリー会長

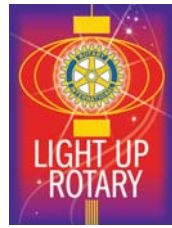
ゲイリー C. K. ホアン

Weekly Report Niigata



2014～15 年度
新潟ロータリークラブ会長

高橋 秀樹



ロータリーに輝きを

2014～15 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 2 月第 2 例会 (2015.2.10) No.3074

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 高橋 秀樹会長挨拶

さて、本日は先週あったことについて2件ほどお話ししたいと思います。

まず、4日の水曜日は、お台場で、ジャパンロータリーデーに参加してきました。ロータリーデーは、今年度の国際ロータリー会長ゲイリーC.K.ホアン氏の提唱により、ロータリークラブの広報を主眼として始まった催しです。世界各地でそれぞれの形で行われていますが、日本でも、各地区が、あるいは各クラブが主催となって開催されています。日本全国版としては、昨年の11月3日に愛知県で「ジャパンロータリーデー in 愛知」が開催されましたが、先週4日は「ジャパンロータリーデー II in 東京」というタイトルでした。国際ロータリー会長ホアン氏が来日し、全国から700名ほどのロータリアンが集まって開催されました。12の地区で開催されたロータリーデーの様子が紹介されましたが、2560地区についても紹介がありました。(スライド)

ホアン氏のご挨拶を聴きました時、次のような話が印象に残りました。かつて初めて日本にいらしたとき、日本の発展ぶりを目の当たりにして、これこそ未来の姿だ、と確信したそうです。そして、その後お子さんたち全員を日本の大学や大学院に留学させたとのことです。現在、お子さんはどなたも流暢に日本語を話しますが、ご自身はなかなか覚えることができず、お子さんたちがうらやましくて仕方が無いと仰っていました。社交辞令として日本を褒めている部分もあるでしょうから、割り引いて考えなければいけないものの、お子さんたち全員を日本に留学させたことは事実ですから、ある程度は本気で仰っているところもあるのだらうと思います。

さてそこで思うのは、今でも日本は、アジア諸国にとって望ましい未来の姿であるのだろうか、また、これからも未来の姿を示す日本であり続けることができるのだろうか、ということです。言葉を換えて言えば、われわれは日本の未来に何を遺すことができるのだろうか、ということでもあります。現在日本は景気を浮上させようと喘いでいるところであり、これを何とかしなければいけないことは言うまでもありません。しかし、世界が注目する未来の形は、必ずしも経済発展の中だけにある訳ではないでしょう。ホアン氏は、日本を評価するいくつかのポイントの一つに、clean environment を挙げていました。未来の姿は、環境の中に、あるいは文化の中に見いだすことができるかもしれません。

Cool Japanという言葉と共に、多くの外国人観光客が日本に押し寄せていることは皆さんもご存知の通りです。これからも日本が、海外諸国から、未来の国、夢の国として憧れられ続けることを切に願う次第です。

次に、7日の土曜日には、関森さんのご好意により、北陸新幹線の試乗会に参加することができました。長野駅(スライド写真)で乗車し、金沢まで往復する小旅行でしたが、大変スマートな姿の先頭車(スライド写真)で、ホームでは写真を撮る人の姿が絶えませんでした。私が乗車した車両では、東北電力の坂本さん、玉さん、岡本さんとご一緒でした。車窓から見る山の景色が素晴らしいとの前評判で、運良く山側の窓際席に座ることができました。前評判に偽りなく、乗車中の殆どの時間は北陸の景色に目を奪われ、何枚も写真を撮らせて頂きました。金沢駅では20分ほどの自由行動でしたが、お土産品売場の充実ぶりに圧倒され、一通り見て回るだけでも時間が足りませんでした。雑踏の中、別車両にご乗車だった竹石さんと、NHKの坂本さんにお目にかかることができました。慌ただしく再乗車して、帰りも快適な乗り心地で長野まで戻ってきました。さて車両の乗り心地と言えば、ヘッドレストが上下に移動させて好みの高さに変えられることや、普通車であっても全ての座席の分だけコンセント差し込み口が設けられていることに気がつきました。今の時代は、いつでもどこでも、仕事でも遊びもパソコンやスマートフォンが使われます。あっという間に充電量を使い果たしてしまう機器ですから、無料で使用できるコンセント差し込み口は大変ありがたいです。また、頭の上の物入れの中を見ることができるようにという配慮かと思いますが、ミラーパネルが張り回してあることも印象的でした。時々お年寄りや背の低い方が頭上の物入れを利用するときに苦労している姿を見かけますが、喜ばれる工夫なのではないでしょうか。このような端々での心遣いが、様々な分野において、世界で愛される日本品質を創っていくのだらうと感じます。

そこで思い出したのが、数週間前にインターネットで読んだ、中国の産業事情についての記事です。それは中国人の経済評論家が中国人の経済人に向けて書いている記事を日本語に翻訳したものでしたが、その内容は次のようなものです。<数年前から、中国人観光客が日本に来ると、日本製の炊飯器を買って帰る人がとても多い。中国製の炊飯器よりも圧倒的に美味しく御飯を炊くことができるからだ。中国の家電製造メーカーはこれを真似しようとするのだが、内釜の部分の高度な製造方法がどうしても中国の技術者に真似することができない。

また近年では、欧米の観光客をまねて日本製のウォッシュレット便座を買って帰る中国人観光客も増えてきた。中国では、家電業界は既に斜陽産業だとする見方がある。しかし日本を見るとそうではないことがわかる。製品開発についての根本的なところを改革しないと、中国の製造業に未来はない。「世に斜陽産業というものはない。あるのは斜陽の企業と斜陽の人だけだ」。

>炊飯器にしても、便座にしても、昔からある日常生活の中のありふれた品物です。そういう品物については品質が一定のレベルに達すると、消費者もメーカーもそれに満足し、それ以上を求めないし考えない、ということは世界でよく見られることだと思います。しかし日本の場合、そういったありふれたものにも絶えず新しい工夫を凝らして、より品質の高いものを、より機能が充実したものをと求めて、黙々と努力を続けることを止めませんでした。そして、いつしか誰にも真似できないものになっていて、需要が殺到したわけです。これは製造業以外のところにもあてはまることだろうと思います。

(3) 委員会報告

高橋 清文地区RA委員長よりRA地区大会ご案内

3月14日(土)にRACの地区大会が開催されます。今回は伊藤代表の元、「魅せよう団結のチカラ! ~そして陽はまた昇る~」のテーマで行われます。また地区ターゲットである「団結しよう。その先に成長が待っている。」の集大成として団結した彼らのチカラをぜひ観てみてください。尚、高橋秀樹会長のご配慮で登録費補助2000円が決定しましたので合わせて報告させていただきます。多くの方のご登録をお待ちしております。

*メイクアップ扱いとなります。

(4) 各種ご寄付の発表

青少年育成基金寄付発表(山田 隆一委員長)

樋熊 紀雄君 本間 疆君

(5) ニコニコボックス紹介

・桑原 隆君 新年会の還暦祝い並びに2月誕生月のお祝い有難うございました。週末、白山様で還暦厄払いのご祈禱を受けて来ました。そして偶然にも、本日2月10日が私の60回目の誕生日です。この後、皆様から盛大なる祝福の拍手をいただけると思うとニコニコです。

・玉 知夫君 JTB安藤智さんの入会(来週入会予定)と同じくJTBからエリントン・チムグさんを卓話でお迎えしてニコニコします。

・坂本 光弘君 結婚記念日のお花を送って頂きどうもありがとうございました。昨年頂いたお花も今、花が咲いており、二つとも大事に育てていこうと思います。

(6) 卓話「私にとっての宝物」

JTB 関東 法人営業新潟支店 額爾敦 其木格氏



(7) 本日の出席率 73.12 %

(2週間前メイク後 82.30 %)

節分行事でロータリー保育園訪問

社会奉仕委員長 小飯田 澄雄

節分の2月3日(火)ロータリー保育園に招かれて、佐藤理事・事務局と3人で訪問してきました。園児約130人及び職員と一緒に赤鬼・黒鬼に扮し、豆まきをして交流した。園児は「鬼は外、福は内」と大きな声を出しながら鬼役の私どもに豆を投げ、元気一杯に“鬼退治”をしていた。豆まきを通しての交流はロータリーとしては初めてで、赤鬼・黒鬼の衣裳を着てこん棒を持った私どもが登場すると、園児は力一杯豆を投げて立ち向かった。迫力満点の鬼に驚いて逃げる子もいたが、最後は力を合わせて鬼を部屋の外に追い払った。子ども達の元気な顔を見て一緒にハシャギ、楽しくて若返りました。



2月17日の例会予定

卓話「指定管理事業の実態と展望」

愛宕商事株式会社 白井 吉之 取締役 部長